

**【実施目的】**

- ・本学の学生に適した学びのあり方を考えるに当たって、学生のバックグラウンドや意識等についてのデータを収集、蓄積することによって、本学学生の特徴を客観的に把握することを目的とする。
- ・1 年次終了時と 3 年次終了時に調査を実施し、データを収集、蓄積し、学生が本学での学びを含む大学生活の結果を検証するために活用する。
- ・過年度に実施した調査結果と今回実施する調査結果を比較することによって、学生の学びの成果を可視化するとともに、更なる改善のための材料を提供する。

**【実施主体】**

- ・実際の調査に当たっては各学部の協力を仰ぐが、調査の実施主体は学習支援・教育開発センターとする。

**【調査対象】**

- ・学部 1 年次及び 3 年次の在学生全員を対象とする。事前に調査対象者の抽出は行なわない。

**【実施時期】**

- ・原則として e-class を利用し、秋学期成績通知日～4 月末までに実施する。

**【調査方法】**

- ・回答は任意とする。
- ・アンケート調査の回収状況が芳しくない場合は、学部と学習支援・教育開発センターが調査方法を協議の上、紙媒体によるアンケート調査を実施する。

**【調査項目設定上の留意事項】**

- ・個人の変化を時系列に観察するため、学生 ID を記入したパネル調査を実施するが、個人を特定できるような質問項目はできる限り設けない。学力を測定するような質問項目は設けない。
- ・回答は基本的に選択式とする。
- ・15 分程度で回答できる調査項目とする。
- ・調査項目は、経年調査の必要性に鑑み、基本的には前年度と同じものとするが、調査の信頼性を精査し、追加及び修正を行なう。ただし、経年調査の必要性に鑑み、将来的にも使用できるものを厳選する。

**【集計方法】**

- ・回収した回答データ、アンケート用紙はデータ処理業者にデータの入力を委託し、SPSS 等のデータファイル形式で納品させる。
- ・1 年次終了時に実施の「キャンパスライフに関するアンケート調査」と 3 年次終了時に実施の同調査のうち同等の質問項目については、経年変化を抽出する。
- ・学習支援・教育開発センターに配置する教学 IR 担当教員を中心に調査結果を分析し、大学全体の傾向を探るとともに、学部毎の特徴も抽出する。

**【調査結果の管理・運用】**

- ・調査結果は、別途定める『「キャンパスライフに関するアンケート調査」回収データ管理・運用規則』に従って厳格に管理・運用する。

**【その他】**

- ・調査目的、調査結果を目的外に使用しないこと、個人情報保護を Web 画面とアンケート用紙に明記して、学生に理解を求める。
- ・回答者に謝礼は渡さない。

以上